



親睦月間

Governor's Message

1年間のご協力に感謝いたします

国際ロータリー第2750地区 2011-12年度 ガバナー 片倉 章雄



まず報告になりますが、先月の6日、タイのバンコクで2012年度のRI国際大会が開催されました。残念ながら、私は体調を崩し、参加することができませんでした。

急きょ大西ガバナー補佐に出席していただきましたが、御手洗国際大会推進委員長をはじめ役員皆さまには本当にご苦勞をかけてしまいました。

今回の国際大会には全世界から約3万5千人のロータリアンが参加されましたが、当地区からも230名を超える皆さんが出席しました。大会はタイの王女様も出席され、大変な盛り上がりとなったそうですが、カルヤン・バネルジー会長のロータリーへの思いを熱く語った挨拶に、会場からは割れんばかりの拍手が送られました。引き続き行われた片倉ガバナーナイトでは、他地区からの参加者も加えて250名に及ぶ参加者があり、市川伊三夫パスト・ガバナーの乾杯を合図にタイ料理に舌鼓を打ちながらタイ伝統舞踊を楽しみました。ハイライトは田中作次RI会長エレクトとT.D.Griley元RI理事の両名が出席してくださったことです。忙しいスケジュールの合間をぬってのご出席でしたが、舞踊を最後まで楽しんでくださいました。

いよいよ、今年度も残すところ1ヵ月、仕上げの月となりましたが、今月は新クラブの設立と打ち上げ懇親会という2つの大きな行事が予定されています。新しいクラブは東京米山ロータリーEクラブ2750で、6月2日、ホテルニューオータニで設立総会が開催されます。特別代表は東京世田谷中央RCの関博子さん、スポンサー・クラブは東京米山友愛RCです。

新クラブの特長は、米山奨学生OBが中心メンバーとなって結成されたことと、定期会合は毎週1回決められた日にウェブサイト上で行うという新しいスタイルのロータリークラブです。そのため、海外に在住しているメンバーも参加しています。

日本ではまだ3クラブ目、関東地区では初めてのケースということで、今後の活動に大きな注目が寄せられています。

最後になりましたが、6月15日、ロイヤルパークホテルで第3回クラブ会長・幹事会及び地区役員・委員会合同会議とあわせて今年度の打上げ懇親会を開催いたします。この行事ではほぼ今年度の主なものが終了しますが、1年間にわたり本当に多くの皆さまに助けていただきながら、どうかガバナーという大役を果たすことができました。この場をお借りして心からお礼を申し上げます。

INDEX ※[3](#)～[14](#)は、地区ホームページ(Web)上に掲載しております。

<http://www.ri2750.org/>

[1](#) ガバナーメッセージ

[2](#) 2012年のバンコク国際大会に出席して

[3](#) 地区行事日程

[4](#) 千代田G/銀座・日本橋G

[5](#) 京浜G/山の手東G

[6](#) 山の手西G/多摩南G

一年を振り返って [各グループガバナー補佐/常設委員会委員長/地区幹事]

[7](#) 多摩中G/多摩東G

[8](#) PBG/研修委員会

[9](#) 会員基盤委員会/奉仕プログラム委員会

[10](#) 広報委員会/R財団委員会

[11](#) 米山記念奨学委員会

[12](#) 間宮 地区幹事[統括]/中野 地区幹事[会員基盤・研修]

[13](#) 品川 地区幹事[総務・月信]/公望 地区幹事[PBG・R財団]

[14](#) PBG:PETSセミナー報告

[15](#) 寄付報告/文庫通信/物故

[16](#) 出席報告/編集後記

2012年のバンコク国際大会に出席して

国際大会推進委員会 委員長 御手洗 美智子 (東京広尾RC)

バンコクでの国際大会は大阪を除くと久しぶりのアジアでの大会です。

世界からは約3万5千人の参加者がありました。

日本からの参加者は3千人を超え、私達の第2750地区からもPBGの14名を含めて参加者は230人を超えました。

5月6日の開会式は午前の部はタイの国王の代理で3女の王女様をご臨席され、大変な警備でした。9時半までに開会式に行かないと、扉がしめられまして入場ができませんでした。又、午後の開会式の人が入場しようとすると、バッチに情報が入っており、検査機で赤くなり、入場できないのです。午前に決められた人は青くなる仕組みでした。

ビチャイ・ラタクル元RI会長が王女様のご紹介をされて、おごそかに開会式が始まりました。カルヤン・パネルジー会長はロータリーへの思いが伝わる情熱的な挨拶をされました。会場はビデオがあちこちにそなえられ、大勢の熱気で一杯でした。拍手も大変でした。



近藤理事主催の日本人朝食会は午前6:30にインベリアル・タインズホテルで開催され、1,000人以上の参加者でしたが、午前の開会式に送れることを心配して、早退するように勧められました。

IMPACTは大変広くて立派な会場ですが、バンコクからはバスで1時間くらいかかります。ほとんどの人は、バンコクのホテルに泊まりました。ホテルから会場までシャトルバスを出していて、そのお手伝いをバンコクの大学生がロータリーのシャツを着て、していましたのが印象的でした。学生は会場でも大活躍でした。日本語を学ぶ学生もいました。

開会後の夕方に、デュシタニ・ホテルでの第2750地区ガバナーナイトは250名の参加者があり、タイ料理を頂きながら、タイの舞踊を楽しみました。

残念ながら、片倉章雄ガバナーはドクターストップで、バンコクにいらっしやれなく成りました。片倉ガバナーのご指名で急きょ大西紀男ガバナー補佐がバンコクに來られて、ガバナーの歓迎の挨拶を日本語とPBGからの参加者のために英語でされました。

他地区からも50人近い参加があり、ガバナーも3名参加、他にもエレクト、ノミニ、パストのガバナーも多数参加されました。

第2750地区の市川伊三夫パスト・ガバナーが乾杯挨拶をされ、和やかに食事が始まりました。タイの宮廷料理を加えた、美味しい珍しい料理が出ました。

料理の説明は国際大会推進委員会の柴山克彦委員からありました。

宴もたけなわの頃、田中作次RI会長エレクトが、大変忙しい中をガバナーナイトに2012-13RI会長のエイドの元RI理事のT.D.Griley様とRIの通訳の寺尾栄子様を連れて出席してくださいました。

田中作次RI会長エレクトのご紹介は辰野克彦直前ガバナーでした。

時間がない中30分の出席と聞いており、はらはらいたしました。舞踊が始まる前に着かれ、力のこもる御挨拶を頂きました。又着席でしたので、すっかりリラックスされて、ワインを飲み、お料理を美味しく食べられました。

タイ舞踊は一つが5分くらいで、間に司会の柴宮委員から説明がありました。

田中様ご一行はとうとう最後の舞踊もご覧になり、ガバナーナイトをもりあげてくださいました。一緒に写真を撮られた参加者も多く、本当に来て下さったことに、嬉しく思いました、これも片倉様の熱意のこもったお誘いの成果だと感謝しております。

閉会のご挨拶を佐久間崇源ガバナー・エレクトから頂きました。

最後に田邊委員の音頭で手に手を歌い、ガバナーナイト・イン・バンコクが無事に終了いたしました。

片倉ガバナー及び佐久間ガバナー・エレクトより国際大会推進委員会の委員たちへのねぎらいの言葉を頂きまして恐縮いたしました。

海外での行事なので、ホテルには前払いでしたので、当日登録はお断りいたしましたこと、ここにお詫び申し上げます。不行き届きは委員長の責任ですので、どうぞお許しください。



皆様の国際大会、ガバナーナイトへのご参加を改めて感謝申し上げます。

RI 第2750地区バンコク国際大会推進委員会リスト (ほとんど全員バンコクに集合、手伝いました。)

御手洗美智子	委員長	(東京広尾RC)
濱田 孝	副委員長	(東京泊江RC)
森田 貢士	副委員長	(東京八王子南RC)
関根 正悟	委員	(東京銀座RC)
竹内 良知	委員	(東京日本橋西RC)
田邊 明彦	委員	(東京城西RC)
柴宮 克彦	委員	(東京世田谷南RC)
佐藤 剛	委員	(東京小金井さくらRC)
田中 至	委員	(東京大森RC)
高師 意子	委員	(東京マリンRC)
片山 正治	委員	(東京芝RC)
Mary Torre		(タモンベイ・PBG)
Roberto Fracassini		(ノーザングラム・PBG)

2011-12年度 地区行事日程 (6-7-8月)

6月 1日 (金)	14:00 ~ 19:30	第3回 日台ロータリー親善会議	ホテルグランヴィア京都
6月 1日 (金)	18:00 ~	多摩東Gグループ協議会 中止	
6月 2日 (土)	12:00 ~	東京米山ロータリーEクラブ2750創立総会	ホテルニューオータニ ザ・メイン アーケード階「おり鶴 舞の間」
6月 2日 (土)	15:00 ~ 17:30	地区ロータリアンのためのRYLAセミナー	オリンピック青少年センター
6月 3日 (日)	13:00 ~ 17:00	青少年交換派遣募集説明会	オリンピック青少年センター
6月 5日 (火)	14:00 ~ 17:00	第一回 ロータリー財団セミナー	JICA地球ひろば
6月 9日 (土)	15:00 ~ 17:30	地区インターアクト指導者研修会	東京高等学校
6月14日 (木)		RLI 卒後コース	国立オリンピック記念青少年総合センター
6月15日 (金)	15:00 ~	第3回 クラブ会長・幹事会及び地区役員・委員会合同会議/懇親会	ロイヤルパークホテル
6月19日 (火)	14:00 ~ 17:00	第12回 復興支援地区委員会	三基商事(株)東京支店第2ビル
6月19日 (火)	18:00 ~	2011-12 第6回多摩東グループ協議会	未定
6月22日 (金)	13:00 ~ 15:00	米山記念奨学委員会 2013年度奨学生採用説明会	ガバナー事務所

佐久間年度スタート

7月 1日 (日)	11:45 ~ 15:00	ガバナー・元・次期ガバナー懇談会	グランドプリンスホテル高輪 B1「プリンスルーム」
7月 2日 (月)		R財団地域セミナー	新高輪プリンスホテル
7月 5日 (木)		2012-13 地区役員会・ガバナー事務所開き	
7月12日 (木)		2012-13 第1回クラブ会長・幹事会	目黒雅叙園
7月20日 (金)	14:30 ~	2012-13 クラブ米山委員長セミナー	
7月23日 (月)		G公式訪問 (調布・調布むらさき)	
7月25日 (水)		G公式訪問 (目黒・城南・青山)	
7月26日 (木)		G公式訪問 (広尾)	
7月27日 (金)	14:00 ~ 17:00	第一回 未来の夢計画セミナー	オリンピック青少年センター
7月28日 (土)	予定	2012-13 インターアクト地区年次大会	大田区産業プラザPio
7月29日 (日)	16:00 ~	派遣候補生最終選考合否判定会議	オリンピック青少年センター
7月30日 (月)		G公式訪問 (六本木)	
8月 1日 (水)	18:00 ~ 20:00	日韓短期交換送別会	大森東急イン
8月 9日 (木)		地区役員会	ガバナー事務所
8月25日 (土)	18:00 ~	2012-13 米山夏の懇親会	
8月30日 (木)		東京目黒RC創立45周年記念式典	
8月31日(金)~9月1日(土)		第11回 日韓親善会議	グランドプリンスホテル新高輪?

※上記の地区行事日程は変更する場合がございます。予め事前にご確認の上、ご参加下さい。★青文字は佐久間年度の行事予定です。

千代田グループ

2011-12年度を振り返って

千代田グループ ガバナー補佐 大西 紀男 (東京南RC)



千代田グループの活動の主要項目を列記致します。

(1) 東日本大震災復興支援プロジェクトの実施

千代田グループ全7クラブが個々のプロジェクトを立ち上げ、又、東京赤坂ロータリー・クラブが中心となった5クラブ共同プロジェクト等も実施されました。

第2750地区として、昨年各クラブより集まった支援金と、ロータリー財団より拠出される資金を使い、多数のプロジェクトが実施された事は、各クラブの奉仕活動を盛り上げ、被災地区の方々と一体となった、まさにロータリーらしい活動になったと感じています。この大きな「うねり」を生み出したのは、千代田グループ各クラブの強い意向(ロータリー活動は各ロータリー・クラブが主体となって行うものであり、地区はその活動を支援するものである)であったと各クラブの方々に感謝しておりますし、又、地区の復興支援委員会の市川委員長はじめ委員の皆様の暖かいご理解とご支援があったからこそ実現出来たものと思います。

(2) 千代田・銀座・日本橋共催IMの開催(「職業奉仕シンポジウム」として)

両グループ16クラブの共催として、約150有余名の方々が集まり、第一生命本館大会議室に於いて開催されました。質素ではありましたが、討議された中身は具体例を含め極めて分かり易く、「職業奉仕」を身近なものとして理解する事が出来たと思います。

(3) 千代田グループの諸活動

奉仕活動について、グループの連携を強めて行くという考え方にに基づき、①「みなと区民まつり」へのクラブ共同参画、②青少年交換学生のクラブ共同受入等を初めて実現する事が出来ました。③高校生のインターンシップ受入を全クラブに於いて実現しております。

一方、グループ会長・幹事相互の懇親を深める面では、新年会、ゴルフ会等が開催されました。

最後に、千代田グループ各会長・幹事の方々、並びに銀座・日本橋グループの方々に感謝申し上げます。

銀座・日本橋グループ

2011-12年度を振り返って

銀座・日本橋グループ ガバナー補佐 平野 照幸 (東京日本橋東RC)



早いもので2011-12年度を振り返って顧みる時期となりました。グループ内各クラブの会長、幹事によるグループ協議会は、5月、9月、11月、2月そして6月の打ち上げ会を含めて5回開催し、その都度時宜に適した話題、問題点を討議し、所属9クラブ間の情報を交換しました。

7月から9月にかけての各クラブのクラブ協議会を訪問し、その後のガバナー公式訪問に備えました。公式訪問は7月26日の東京日本橋RC・東京日本橋西RCに始まり、10月17日の東京日本橋東RC・東京シテイ日本橋RCを最後に全9クラブを終え、11月10日には、千代田グループと共催による『職業奉仕』をテーマのIMを第一生命ホールで開催しました。それに先立つ10月8～9日に亘って東日本復興支援被災地訪問ということで、被災地仙塩地区を地区役員とともに訪問し、復興の日遠しの感を切実に感じてきました。毎月1回開催の復興支援地区委員会は市川研修リーダーのお膝元、渋谷で年間計12回開かれ復興への支援を検討してまいりました。

各クラブの周年行事としては、東京中央新RC10周年、東京中央RC25周年、東京府中RC50周年、東京日本橋西RC25周年と4回を重ね、それぞれ特色のある周年行事が行われました。

2月22～23日の第2750地区大会は東京日本橋RCをホスト・クラブとして、残りの東京日本橋3RCがコ・ホストとなり、登録人員じつに2,613名を数える盛大な大会となりました。PBグループ、第3650地区はじめ他地区からの参加者も数多く成功裡に終えることができ、東京日本橋RCの底力に感動しました。

その他諸々の地区委員会の活発な活動による会合が、1年間に十数回に及び、まことに充実した1年でありましたが、タイ・バンコクにおける5月5～8日の国際ロータリー年次大会に、片倉ガバナーが体調を崩されご出席できないまま日本人朝食会、ガバナーナイトを進めなければならなかったのが、何より残念でした。スケールの大きな会場での国際大会は、まことに壮大なものでしたが、ガバナーを輩出したクラブからの参加者が皆無だったことは、画龍点睛を欠くことになり、なんとも心残りの結果となりました。千代田グループの大西ガバナー補佐には、大きなご負担をおかけしたことを、同じ日本橋グループの一員として誠に申し訳なく感じました。

以上2011-12年度を振り返って充実感と満足感に満ちた反面、反省することも多い一年でありましたことを申し添えます。

京浜グループ

2011-12年度を振り返って

京浜グループ ガバナー補佐 村口 正 (東京白金RC)



片倉ガバナー年度は、本来の使命以外に東北震災支援が加わり、RI、地区の重点目標と併せて大変多様な対応せねばならない年度になったのではないかと感じております。さて年度、最大の重要行事、各クラブへのガバナー訪問、各クラブ礼をつくしての歓迎は「礼の用は和を貴しとなす」とあるように、ロータリー全体の和をもたらし、ガバナーとの会話は各クラブの活力を生み出していく大変大切な「行幸」と言えるでしょう。ガバナー訪問は欠くことのきない行事であることを検めて確認致した次第です。

そして、東北震災、あの大惨状を目のあたりにすれば、ロータリアンすべての人が「何かせねばならない」と強く感じたのではないのでしょうか、京浜グループ 14 クラブは、各クラブ個々の力を結集し、一体となれば、ロータリーの精神を世間に知らしめる奉仕ができるのではないかと思考し、東北震災支援京浜委員会を、東京羽田 RC 船山会長主幹事のもと立ち上げ支援方法を協議しました。委員会では、寄付金の額を競うものではなく、ロータリーの精神を行動で知らしめ、ロータリーのイメージアップをはかり、その行動が増強に寄与するような、広報的寄付を行うことが肝要であろうと要約されました。

京浜グループ 14 クラブ一体となって何を行うか、地区復興委員会の方針を見極めながら協議を重ねました。東京高輪 RC 提唱の東北支援チャリティーコンサート(財団奨学学友 愛知とし子ピアニスト(高輪クラブ幹事) 14 クラブが支援しました。

その間、東京大森 RC が環境問題をテーマにした環境活動で、「RI 意義ある業績賞」を受賞されました。地区 89 クラブ中、年間 1 クラブだけ選ばれる大変意義ある賞であります。

ご存じのように RI 意義ある業績賞は、単なる金銭的奉仕でなく、会員の大半または全員が直接参加しているものであること。地域社会におけるロータリーのイメージを向上させるものであること。他のロータリークラブの規範となりうるものであることが選考基準となっております。そして、この業績賞を応用し、京都議定書に義務化された、CO₂削減への取り組みを、震災と津波で森林産業が壊滅的打撃を受けた東北岩手県有林に、ロータリー関連が吐き出す CO₂ をカーボンオフセットし東北支援を行う奉仕事業です。温暖化問題は地球規模の問題であり、環境問題の取り組みこそが国際社会から高邁な理念を持つロータリーの存在を知らしめることでしょう。会員減少の現実直面している日本のロータリー、1 クラブ会員数の減少と、課題は多いが、増強を含めたクラブ活性化は、一人一人の全ての行動がロータリーのイメージを高めることにあらねばいけません。横断的つながりのない RI 傘下の 14 クラブが協議を持ち目的の一つにすることの意思決定は大変難しいことですが、1 クラブ会員数の少ない京浜ブロック、ロータリーのイメージを高めるための戦略的奉仕を、協同の力で行うことが必要になってきているのではないのでしょうか、なにはともあれ、補佐の大役、当初私に務まるか心配しておりましたが、どうにか 6 月を迎えられました。偏に各会長幹事、地区役員の皆様のご協力のお蔭と深く感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

山の手東グループ

2011-12年度を振り返って

山の手東グループ ガバナー補佐 服部 陽子 (東京広尾RC)



片倉ガバナー年度がスタートしたのが昨日のこのように思いますが、そろそろ次の年度にバトンを渡す頃となりました。ガバナー補佐としての一年を振り返る時、まず何よりも嬉しかったのは、山の手東グループの会長・幹事の皆さんの結束力、チームワークの素晴らしさです。毎月行われたグループ協議会は毎回 100% に近い出席率で、ガバナー補佐から各クラブへの伝達はもちろん、クラブからのフィードバックも積極的であり、又、10 クラブ間の情報交換、意見交換も十分に行われました。

年度の初めに、10 クラブの会長・幹事みなさんに「今年はグループ内でクラブを超えた交流を図りましょう。」と言うメッセージを送ったところ、幾つかの合同奉仕プロジェクトが実現しました。また、合同例会も積極的に行われました。グループ内にあっても日頃比較のお付き合いの少なかったクラブ同士が合同例会や合同親睦会を開催することにより、交流の輪を広げ、他のクラブを見ることで自分のクラブを客観的に見るきっかけになったという声も多く聞かれました。

今年度、第 2750 地区が RI の広報補助金を使った初のプロジェクトを実施しましたが、これは東京六本木クラブが主催クラブとなり、山の手東グループの全クラブが共催クラブとなって行われました。

「END POLIO NOW」という文字を六本木ヒルズに大きく点灯させ、広く一般社会の方々にロータリーが行ってきたポリオ撲滅活動を知らせようというものです。大変大きなプロジェクトでしたが、ここでも 10 クラブの皆さんの協力体制の素晴らしさが目立っていました。そのおかげでこの広報プロジェクトは大成功を収めることができました。

「会長みなさんにロータリーという舞台上で存分に活躍していただきたい、ガバナー補佐はその舞台を支える黒子のような存在になれたら。」というのが、この任務を頂いた時からの私の念願でした。どこまで黒子の役目が果たせたかわかりませんが、会長の皆さんと共に悩み、喜び、感動し、手を取り合って歩んだこの一年は、私のロータリーライフでの忘れられない大切な思い出となることでしょう。最後に二人三脚で歩んで私を支えてくださった高根グループ幹事に、心からの感謝とお礼を申し上げます。

山の手西グループ

2011-12年度を振り返って

山の手西グループ ガバナー補佐 関 博子 (東京世田谷中央RC)



片倉年度も残すところ1カ月となりました。片倉ガバナーにガバナー補佐としての任命を戴き感謝申し上げます。山の手西グループの会長・幹事の方々と共に10回のグループ協議会を重ねてまいりましたこと、御礼を申し上げます。昨年12月14日を皮切りに新年度の準備をしておりました。グループ内での最大の行事である“IM”の打ち合わせから始まり毎回地区並びに委員会からの伝達の他、各クラブの現況を会長さんから報告いただき他クラブの情報交換の場になったかと思えます。新年度7月以降はガバナー補佐太田グループ幹事共に各クラブを訪問させていただきグループ内11クラブがそれぞれ大変個性的なロータリー活動をしている姿を拝見いたしました。大小それぞれクラブの構成も様々でしたが皆さん、誇りを持って活動をしていることを目の当たりにすることが出来ましたことはグループ幹事ともども代えがたい良い経験ができました。

自クラブにいただけでは分からない事、それぞれ悩みを抱えながらそれを前向きに活動する姿こそロータリアンのあるべきことと改めて感動を覚えます。わがグループには2年前に拡大によって出来ました東京米山友愛RCがございます。若き新人の集まりではありますが10クラブの会長・幹事の方の暖かなご声援次の世代を育成する姿に新クラブも安心して席を並べさせていただいたようです。今年度はIMのテーマを「国際交流と奉仕の在り方」と題し10カ国から構成されている東京米山友愛RC会員が開会前に“世界のお茶”で接待。この事を通じ山の手西グループの多くのロータリアンに若いが一生涯懸命頑張っている姿を見ていただけたと思えます。これからロータリーも変革の時を迎えると思えますが100年余りの長き歴史のもと良い習慣は守り、変えても良いことはクラブの自主性でそれぞれが新しいクラブ作りをすと云う目標を掲げ楽しい活動を進めていけると確信する次第です。また、6月2日には東京米山友愛RCがスポンサー・クラブとなり米山ロータリーEクラブが創立いたします。重ねてこちらにもご声援をよろしくお願い申し上げます。最後になりましたが山の手西グループ450名の皆様大変お世話になりました。ありがとうございます。

多摩南グループ

2011-12年度を振り返って

多摩南グループ ガバナー補佐 井上 直行 (東京町田サルビアRC)



本年度RI カルヤン・パネルジー会長の『心の中を見つめよう博愛を広げるために』のテーマと「家族」「継続」「変化」、この3つの強調事項に力を注ぎながら、多摩南グループ八王子、日野、町田、11クラブ、450人の会員と団結しながら昨年7月にスタートしました。ガバナー補佐として8月に各クラブを表敬訪問させて頂き、各クラブの例会の雰囲気を読んで参りました。各クラブからはグループ幹事共々、温かく迎えていただき感激致しました。その後ガバナー公式訪問前のクラブ協議会への出席、協議会の好評に続き例会卓話を11クラブでさせて頂き、地区の今年度の強調事項・クラブの事業計画・親睦について意見を述べさせて頂きました。

各クラブ共、特色のある事業を継続しており毎年変化を与えることに苦慮していました。ガバナーの各クラブ公式訪問も10月に行われ多摩南グループでは、5回の訪問も順調に行われ、片倉ガバナーも多摩南グループのRC各クラブの職業奉仕も通じて、奉仕をするロータリーの精神と、地域に根ざした奉仕を通じてよい汗をかいて親睦をはかる活動を聞かれて多摩南グループの現況を理解して頂けたのではないかと考えております。

12月初旬にはインターシティ・ミーティングを開催いたしました。今年度は、昨年の東日本大震災に対する気持ちをより一層強く受け止め【東日本大震災を振り返って】のテーマの基、RI第2520地区パスト・ガバナー 桑原 茂様に基調講演をお願いし、ご自身が直接体験された経験を通してどのように感じ受け止められたかをお話頂き、その後各クラブ会員が参加して、基調講演を踏まえた上で分科会にて意見交換を行い、各グループ毎に発表をして頂きました。懇親会を含めて大変有意義なIMが開催され、各クラブの多くの会員の皆様からも温かいご支援を頂き、私の忘れられない思い出となりました。今年度は多くの皆様方のご協力を頂き、無事諸行事が滞りなく済みました事にお礼申し上げます。

多摩中グループ

2011-12年度を振り返って

多摩中グループ ガバナー補佐 藤波 璋光 (東京国立白うめRC)



本年度初めに掲げたA・T・M(明るく・楽しく・前向きに)と市川研修リーダーのロータリーの基本は親睦からと言う2つの事を念頭におき、1年間努めてまいりました。

多摩中グループは全部で12クラブありますが、その中で6クラブ合同例会を開催する事が出来、各ロータリアンの親睦も深められました。

又、グループ協議会を7回開催し、各クラブの会長ならびに幹事の皆様とも有意義な時間を過ごしより親密になられたような気がします。

ガバナー公式訪問では、各クラブともに会員増強に悩まれていた様に思い、私が思うには各ロータリアンの方々がロータリーライフを楽しんでいる事が増強につながるのではないかと考えています。

最後になりますが表敬訪問・ガバナー公式訪問の際に暖かく迎えて頂きましてありがとうございました。本当に1年間色々な方に助けて頂き感謝致します。

多摩東グループ

2011-12年度を振り返って

多摩東グループ ガバナー補佐 篠塚 武雄 (東京多摩RC)



多摩東グループのガバナー補佐という重職を拝命し、6月のグループ協議会が最終の公式行事となりました。

振り返ってみますと、前年度(2010年)の秋のガバナー補佐研修以来、緊張と不安の中でのスタートとなりましたが片倉ガバナーをはじめ大変多くのロータリアンとの交流をはかる事ができ私にとって貴重な体験ができた期間でありました。

多摩東グループ活動におきましては、何と言っても、東日本大震災の復興支援事業が最初の大きなテーマであり、また課題でもありましたが、各クラブの積極的な活動のおかげで、大きな成果を上げることが出来たのではないかと考えております。復興支援における特徴的な奉仕活動としては、被災地のロータリークラブと連携し、更にグループ内の複数のクラブが協力して支援活動を行いました。各クラブやグループ、地区の枠を超えて一つのプロジェクトを遂行するという、ロータリークラブであればこそ出来た事業といえます。しかしながら、私も何度となく被災地を訪れましたが復興にはまだ期間を要するというのが実状です。今後におきましてもロータリークラブの力を結集していく必要性を痛感しております。

また、前年度の6月に誕生しました、東京iシティロータリー・クラブが仲間に入り当グループは10クラブとなり、当年度よりグループ内の活動を共にすることとなりました。会員減少が大きな問題となっている現在、新クラブ誕生に尽力された関係各位に改めまして敬意を表する次第です。

2011年11月に開催いたしました、IMにおきましては、多数のロータリアンにご出席をいただき、誠にありがとうございました。ロータリークラブの原点とも言える「職業奉仕」について各クラブ代表によるパネルディスカッションをメインに大いに盛り上がった1日でした。最後になりますがご指導、ご協力いただきました片倉ガバナーはじめ地区の皆様、そして未熟な私を支えていただきました。

多摩東グループの皆様にご挨拶を申し上げて、結びとさせていただきます。



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

研修委員会

2011-12年度を振り返って

地区研修委員会 委員長[研修リーダー] 市川 伊三夫(東京銀座RC)



5月バンコックで行われた国際大会の第2750地区ガバナーナイトは2百数十名の参加をえて、盛大にたのしく行われた。

何といてもハイライトは田中作次次期会長が殺人的忙しさの中、来場され、しかもゆっくり皆さんと歓談されたことと、田中次期会長のエイドとして来場された、永年国際ロータリーのトラスティ、ディレクターを務められたグリレイ氏もすばらしい方で、この催しに華を添えて頂いた。

片倉ガバナーが来られなかったのは大変残念であったが、大西紀男ガバナー補佐が立派にすばらしい代役をつとめ上げられた。

本年度は地区大会も立派に盛大に行われ、今漸く終わりに近づきつつある。種々なことがあった。ありすぎる程あったが、ここ迄辿りつけたのも皆さんのご好意・ご支援のおかげ。深く感謝している。

世の中の動きは激しさを増しつつある。第一に地球の活動期を予測させる事例が数多く出てきた。21世紀は水の問題が主流といわれる。多くのいざこざが水問題の深刻さを加速させるかもしれない。争いは絶えず、被災者も増えよう。また欧州を起点とする金融問題の深刻さも予想するだに恐ろしい。これからも生活の基盤を失った大量の失業者が噴出してくる可能性がある。ロータリーの任務は重くなる一方だ。本年度役員をつとめられた皆様には、種んなご協力を頂き感謝の気持ちで一杯である。来るべき難局に向かって、皆様方の益々のご活躍を切に願います。

会員基盤委員会

2011-12年度を振り返って

会員基盤委員会 委員長 中島 康裕 (東京中央RC)



今年度の会員基盤委員会は、会員増強・拡大委員会、ロータリー情報委員会、ロータリー親睦活動委員会の3委員会連携により、以下のとおり基本方針である会員基盤の充実、強化とクラブの活性化に向け積極的に取り組んでまいりました。

◆「地区会員増強セミナー」(2011年6月13日) 会員増強・維持についての体制整備と目標設定、行動計画を確認し、会員減少に歯止めをかけるための対策を検討いたしました。

◆「地区内グループ別会員増強委員長会議」(9月より順次開催) 会員増強と同時に会員維持の重要性についての認識を深めることができました。

◆「地区新会員セミナー」への参加

新会員の定着と若手会員のクラブ内における存在価値を高めることの重要性を理解することができました。

◆「RI地域別会員増強・維持3年計画」

RI理事会は、2015年6月30日までに全世界の会員数を130万人にするという目標を設定しました。

これは2012-13年度からの3年間に3%の純増を目指すものです。これはクラブや地域ごとに大きな違いが見られることを認識し、また目標や方策の立案と活動に一貫性を持たせることを意図した決定です。RIゾーン1.2.3会員増強・維持セミナー(2012年3月19日)において、本件は

正式に了承され当地区も具体的な検討に入り、来期より実施されることとなりました。

◆今期の主な検討課題

(1)若手会員の獲得 高齢化の進む日本のロータリーとしては、40歳以下2%、60歳以上55%の現状からの脱却を図る。

(2)例会の時間帯 現状では昼例会が90%であるが、昼の業務多忙による欠席を回避するためにも、朝、夜(夕)例会を考慮する。

(3)クラブ運営のコスト 会費と諸経費についても、高コスト体質の改善を図る。

(4)女性会員の勧誘 女性会員が活躍しやすく魅力的なクラブにするため方策を検討し、現状の4%からせめて世界平均の15%を目指す。

(5)クラブ拡大への挑戦 ネット社会における当地区でのロータリーEクラブ設立構想検討の中で現在、米山学友を中心とするネットワークを生かした「東京米山ロータリーEクラブ2750」の準備体制に入っております。(2012年6月2日の創立総会)

◆3月末の実績(報告)

入会累計263名、退会累計211名、純増52名。

一方、7月1日会員維持率は、95.3%となっています。

◆会員増強スポンサーピン

今期より復活させていただき、4月末時点で、51クラブ239個をお届けいたしました。

奉仕プログラム委員会

2011-12年度を振り返って

奉仕プログラム委員会 委員長 福井 衛 (東京武蔵府中RC)



当委員会は五大奉仕のうちクラブ奉仕を除く四大奉仕、即ち職業、社会、国際、新時代の各奉仕部門を担当し、地区組織では4部門委員会を中核に据え10小委員会で構成されています。

各委員会の活動につきましては、一部6月に実施される会合等も残っておりますが、各委員会の皆様のご尽力により、ほぼ所期の活動目標を達成してまいりました。

限られた紙面では詳細報告をするのは無理ですので、ガバナー月信7月～5月号のネット版をご覧くださいと存じます。

地区奉仕プログラム委員会に課された最大の目標は、言うまでもなく各クラブが様々な奉仕分野ならびに地域社会や国際的な活動がバランスよく実行できるように側面から支援することです。年度当初に掲げた基本方針は以下の通りであります。

- ①クラブの奉仕活動の支援を第一とし、地区主体の奉仕プロジェクトは立ち上げない。
- ②各奉仕分野の活動においてクラブが問題としているのは何であるかを把握し、その問題を解決するには、地区委員会としてどのような支援ができるか?
- ③各クラブの奉仕プロジェクト活動の情報を収集し、地区内各クラブに開示する。
- ④複数の奉仕部門に当てはまるプロジェクトやクラブ合同奉仕プロジェクトの推奨。
- ⑤RIやロータリー財団プログラムの活用をクラブに推奨。

このため、各部門委員長の皆様との合同会議を定期的開催するなど、四大奉仕部門を担当する地区の各委員会が、いわゆる縦組織として個々に活動するのではなく、常に最新の情報を共有しながら連携することに努めてまいりました。

クラブの皆様にはこの1年、当委員会の活動に深いご理解とご協力を賜り誠にありがとうございました。また、地区各委員会の皆様にも改めて深甚なる感謝の念を捧げたいと存じます。

広報委員会

2011-12年度を振り返って

広報委員会 委員長 岡 常吉 (東京日本橋RC)



年度計画として「養蜂事業の普及」を掲げて出発しましたが、地区事業として合意を得るに至らず、各クラブより個別の依頼があった時に対応すべく方針を変更致しました。

その後片倉ガバナー直々に、東京六本木ロータリークラブのポリオ点灯式に協力し、広くマスメディアに事前案内をする様ご指示を頂き、2月20日「エンド・ポリオ・ナウ」の行事を終了致しました。

2月26日は、例年の担当行事である「東京マラソン」でしたが、各委員・各クラブの協力の下、ボランティアの行事を完了することが出来ました。

年度を通じて感じたことは、国際ロータリー活動が十分マスメディアに浸透されていない為、ロータリークラブとは何か？奉仕活動とは何か？を理解してもらう為、改めて広報活動の必要性を認識致しました。

次年度は、広報委員会に代わり、公共イメージ委員会がスタートすることになっておりますが、マスメディア対策を強化するには調度良いタイミングと考えられます。

同委員会の今後のご活躍を期待し、結びとさせていただきます。

ロータリー財団委員会 活動通信

2011-12年度を振り返って

ロータリー財団委員会 委員長 鈴木 義明 (東京武蔵国分寺RC)



今年も、研修で始まり、研修で終わる、ロータリー財団の宿命でしょうか。毎年同じ同月に「研修・セミナー」を実施して参りました。また、今年も新年度が始まる前に「研修・セミナー」が開始されております。出向の委員の方々に楽しいロータリーライフを過ごして頂くと同時に楽しい奉仕活動を理解して頂き、クラブの方々に楽しい奉仕を伝えて頂く重要な役割をして頂く為には、委員の方々に研修を受講して頂く事は、避けて通れない重要なポイントだからです。

本年度の各委員会は、あの、3・11東日本大震災に多くの委員が係わって参りました。

ポリオプラス委員会は、震災とポリオ寄付を掲げたチャリティー実施を支援して参りました。また一方で、本年度2億ドルチャレンジの総仕上げの年、委員全員でクラブの皆様にご支援をお願いした結果、地区予算達成と2億ドル達成との喜びを頂きました。補助金委員会では「ロータリー東日本震災復興基金補助金申請と東日本大震災復興支援PJ支援地区」との申請受付説明と地区の補助金(DSG)のプログラム参加へのご案内そして、地区と財団独自でDDFとロータリー東日本震災復興基金日本委員会の支援で被災地石巻の「漁業組合支所建築」では、沢山の涙を頂きました。奨学・GSE・学友委員会では、震災で留学延期をしなければならないフェローへの相談、ロータリー平和フェロシップ委員会では、原発の影響による一時帰国するフェローや震災地にボランティアへ行くフェローと様々な相談がありました。寄付増進委員会では、例年にない寄付の伸び悩み「震災の影響か…」委員会一同でクラブの皆様をお願いをした結果、すぐに年通りクラブの皆様から寄付を頂き、目標達成ホッと致しました。多くの財団委員が大なり小なり震災との関係に係わった委員会活動でした。

また、一方2013-14年度に向かった「未来の夢計画」に対しての準備調査では多くの方に大変お世話になった年でも有りました。此の未来の夢計画実施では、ロータリー財団の歴史を塗り替える事となります。ロータリー財団は、私たち全てのクラブのための財団になります。今までのように財団独自のプログラムを消化すれば良いプログラムから大きく変化します。つまりロータリアンの為の財団に変わります。プログラムも各クラブのロータリアン自らが創造しかつ、自らが活動するものになると言っても良いかと思えます。この様な事を、クラブの皆様にご伝えたくて、本年度財団一同、例年と同様プログラム実施と同時に下調べの日々が続いての一年でも有りました。

米山記念奨学委員会

2011-12年度を振り返って

米山記念奨学委員会 委員長 松本 啓祐 (東京八王子RC)



東京芸術大学キャッスル食堂

留学生懇談会の案内をいただき、過日東京芸術大学を訪れた。昭和初期の時代にタイムスリップしたかのようなたたずまいの会場は、キャッスル食堂という名の学食とのこと。ほかの大学に比べると欧米系の留学生が目につくが、ここでも大半は中国からの学生である。「中国の学生は熾烈な競争を経て入学してくるので、実に優秀ですよ」と音楽の指導教授の方からお聞きした。創造への夢を語る学生たちに米山記念奨学事業の意義を痛感した一夜となった。

米山記念奨学事業

新しい世代との交流の成果を享受するのは新旧両方の世代である。今年度は学生とロータリアンがふれあう機会を出来る限り増やした。春と夏の懇親会に加え、ほとバスでの「東京再発見ツアー」、「世界の言葉と文化」イベントや「就職相談会」などは、長期的な観点から米山奨学事業とロータリーの発展に資することになるだろう。

学生の世話クラブとカウンセラー諸兄には親身のサポートをいただき、感謝の念にたえない。ご寄付をいただいた皆様によってこの事業は支えられ、社会に貢献する学生たちが巣立っていく。地区委員会としても、この有益な事業のお手伝いが出来たことを誇りに思う。

シンフォニー・ポリフォニー

ロータリーと米山はシンフォニーを奏で、ポリフォニーは新しい響きをもたらすだろう。両者の運動が共振する時には、ベートーベンの第九交響曲を想起してみるのも悪くない。

Deine Zauber binden wieder, Was die Mode streng geteilt; Alle Menschen werden Brüder,
汝が魔力は再び結び合わせる 時流が強く切り離れたものを すべての人々は兄弟となる
(第九交響曲 歓喜の歌より)



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

地区幹事

2011-12年度を振り返って

地区幹事 [統括] 間宮 健太郎 (東京日本橋RC)



本年度も残り僅かとなって参りました。今年度末までにはまだ重要な地区行事も残っておりますが、準備期間を合わせると約1年半の間に行われた様々な行事や出来事を振り返って見る事にします。

まず2011年1月13日東京クラブでの「片倉ガバナー・エレクトの送行会」を手始めに、いよいよ片倉年度の船出と成りました。2月16日「地区チーム研修セミナー」、3月2日-3日「会長エレクトセミナー」を無事終了、おぼつかない足どりではありましたが、まずまずの成果を上げ、次の「地区協議会」の打ち合わせの最中、3月11日の東日本大震災、M9.0の大地震、34Mの大津波、レベル7とされる福島原発の事故、まさに日本にとって66年前の敗戦以来の国家的未曾有の大惨事と成りました。

ガバナー会を通じて地区からの要請もあり、全国のロータリアンより寄贈された義捐金は高額に達し、ロータリアンの熱意、誠意をこれ程までに感じた事は過去にはなかったと思われました。前年度より引き継がれたガバナー会で、片倉ガバナーはガバナー会議長として、誠心誠意活動されましたが、34人のガバナーの意見は纏まらず、その間各地区のPastor・ガバナーよりメールの嵐が吹き荒れ、ガバナー会もてんやわんやとなりました。片倉ガバナーの苦悩は、はた目にもお気の毒で、声を掛けるのも躊躇うほどでありました。

7月26日の「ガバナー公式訪問」(東京日本橋RCと東京日本橋西RC合同例会)を皮切りに、国内84クラブ44回、その後PBG、8クラブの公式訪問も無事終了、いよいよ「地区大会」に全力投球をされました。日本橋の有志による懸命の努力の賜物である「地区大会」は、今まで以上の素晴らしい地区大会に成りました。多数ご参加頂いたロータリアンの皆様様に感謝申し上げます。

ここに来て片倉ガバナーには大変残念なことですが、予定していたバンコクの国際大会は体調不良のため欠席となり、一時入院され、現在自宅にて療養しております。しばらく休養なされ、6月15日の「地区打ち上げ」にはきっと、元気なお姿を皆さまの前に見せていただけると願っております。

地区幹事

2011-12年度を振り返って

地区幹事 [会員基盤・研修] 中野 陽一 (東京たまがわRC)



研修、会員基盤担当の地区幹事としてこの一年は、想いで深い期間でした。

地区チーム研修に始まり、三大研修を終えると、ガバナー公式訪問に約半数の地区内クラブへ片倉ガバナーに随行し、各クラブの熱意溢れる充実した活動のご報告を頂きました。

また、年度末におけるクラブの各賞の審査に携わり、クラブがそれぞれ取り組んだ奉仕活動はクラブ会員の皆様の熱意と情熱が感じられ、尊敬に値する活動ばかりであった事を述べさせていただきます。

特に、昨年の東日本大震災の被災地と被災者に向けた支援活動は、真心に裏付けられた感動的な活動が行われた事は、ロータリー精神の発露だけではなく、人間としてその痛みを少しでも分かち合いたいという心が活動報告の行間と資料を通じて感じられ、大変感動的でありました。

年度末を控え、会員基盤向上の一環として念願であった、Eクラブの拡大が実現します。

米山学友を中心として、久邇年度に設立した東京米山友愛ロータリー・クラブをスポンサー・クラブとして、国内3番目のEクラブを設立することになりました。

このクラブは全世界に広がる米山学友を中核として、日本語を公用語とする世界的なクラブとなります。私も拡大補佐として「東京米山ロータリーEクラブ2750」に参加いたします。本稿を書く時点では創立総会前ですが、今まで経験のないクラブをどのように立ち上げ、運営するか不安がない事はありませんが、新クラブメンバーとスポンサー・クラブの想いが実るものと信じています。

この新クラブへの温かいご支援をお願いいたしますとともに、地区幹事として各クラブとクラブメンバーの皆様へ一年間の御礼を心より申し上げます。

有難うございました。

地区幹事

2011-12年度を振り返って

地区幹事 [総務・月信] 品川 甲申 (東京日本橋RC)



昨年同時期より、東京日本橋ロータリークラブより地区委員として活動のお手伝いをするようになりました。活動については何も経験が無いものですから、何をどうやればよいか戸惑い中でスタートしましたが、過ぎてしまえばアットという間でした。地区が行なう活動の広範さと深度には少し驚きがありました。地区の活動をされている多くの経験豊かな地区役員、各クラブ運営にあたった皆様の奉仕の気持ちの大きさを感じました。震災復興に関する活動は印象に残りました。

片倉ガバナー年度ということで、東京日本橋RCが地区大会の実行事務局として活動しました。ホームクラブの一員として大成功にて閉会できたことは嬉しく思います。「先に待ち受けている功績をここに描きながら、チャレンジに立ち向かうときだ。」との年度始めの挨拶を思い出します。

地区幹事

2011-12年度を振り返って

地区幹事 [PBG・R財団] 公望 聡史 (東京日本橋RC)



PBG、R財団担当地区幹事にとって、2011-12年度は3.11東日本大震災の影響を避けて通れない一年でした。震災発生直後、R財団では早速本年度のMGの一部を復興支援に配分することが決定され、その後設立された東日本震災復興基金については補助金申請のアドバイスを財団補助金委員会が担当することで対応してきました。

また、PBG関連活動においては、震災のため例年4月に開催されていたグアム島におけるPETSが6月に延期され、その後のスケジュールに影響を及ぼす結果となりました。震災直後のこのPETSでは、早速にグアムRCよりお見舞金を頂戴することになり、寄付

を受ける側の気持を実感できる貴重な体験ができました。

震災の影響を受けながらも、それなりに前進のあった一年だったと思います。

財団関係では、2013年完全実施を目指す「未来の夢計画」の準備が着実に進められ、また本年1月には「ポリオ撲滅2億ドルチャレンジ」が達成されたとの嬉しいニュースが飛び込んできて、第2750地区にはRI会長より感謝状が授与されました。

PBG関連では、昨年12月、例年より約一ヶ月遅れて、ガバナーの公式訪問が実施され、各クラブとの意見交換を通じて、現場の意見、要望を吸い上げることができました。

また2月の地区大会には、いろいろ紆余曲折がありながらも、PBGからはガバナー補佐はじめグループ8クラブの全会長が来日、グループ紹介では一同登壇できたことには、感激しました。

将来については、第2750地区にとってPBGがより身近に感じられる存在となることを期待しています。東京とPBG間の人的交流、情報交換の機会が増えること、東京サイドにおいて“Group For One”活動への関心が高まること等が望まれます。また、PBGに一切の事務局が存在しない現実を踏まえて、ある程度地区が事務局機能をカバーすることでより効率的なロータリー活動ができることを願っています。

PBG : PETS セミナー報告

グアムよりハファダイ！！

2012-13年度 地区副幹事 笹山 園美 (タモンベイRC)

4月25日、第2750地区パシフィック ベイスン グループPETSセミナーがグアム マリオットホテルにて開催されました。佐久間ガバナー・エレクト、楠瀬次期地区幹事、辰野地区研修リーダー、服部地区研修副リーダーならびにグアムから4グループ、遠隔地より4グループを含め合計25名の参加となりました。佐久間ガバナー・エレクトを筆頭に4名の地区役員の皆様をお迎えし25日にはPETSセミナー、26日は各会長エレクトの戦略計画、ロータリアン合同昼食会と終始なごやかにまた活気にあふれたプログラムを進行しました。



まず最初に、25日午前8時の会議には佐久間ガバナー・エレクトがご挨拶に立ち、まず初めにカルフォルニアサンディエゴで開催された国際協議会の様子をご紹介されました。国際ロータリー会長エレクト田中作次氏のテーマ「Peace Through Service」の目的、意味についてご解説をされ、セミナー中に皆さんでこのテーマについて考えて意見を交換しましょう、とのお言葉を頂きました。

その後、国際会議での田中作次氏のスピーチDVDを拝観し、PBGの参加者は会長エレクトの一言一言のお言葉に深く感銘を受けて、何名かはDVDの購入を希望したほどです。



辰野地区研修リーダーから、昼食を挟んで服部地区研修副リーダーとプログラムは進行し、国際ロータリー戦略計画、ロータリーファンデーション、補助金申請、方法などのプレゼンテーションがありました。特に補助金の種類、申請、方法は質疑応答が活発に行なわれ、次年度の活動の中でどのようにして補助金を活かしていくのか参加した各クラブの代表者は大変興味を示していました。

セミナーの最後には、2グループに分かれて次年度のテーマ「Peace Through Service」についてディスカッションを行い、各グループが発表しました。様々なアイデア、意見が発表され、次年度の活躍、計画達成が楽しみです。

26日は各会長エレクトから次年度の計画、リーダーシップ、募金、プロジェクトの発表が行なわれました。パシフィック ベイスン グループは何千キロにも及ぶほど広大な地域にあり、多様な文化や習慣を有するとともにユニークな地区です。

Rotary Club of Guam は子供の為の国際スプリングビーへの援助協力、Rotary Club of Pohnpeiは島内の病院の改修、備品の調達、Rotary Club of Truk Lagoonでは子供達に新自転車、修繕自転車の供給、Rotary Club of Palauでは図書館図書などの修繕など様々な形で地域に密着した奉仕活動に熱心に取り組み、各クラブとも地域へ溶け込み、有意義な交流を継続しております。又、会期中にPBG Clubとして「平和」を基盤にしたRotary Club of Northern Guamの911犠牲者への平和メモリアルの設立、Rotary Club of Saipanではロータリーの平和としてメモリアル公園の設立の発表もありました。

一方ではRotary Club of Guam Sunriseからは高校卒業生への\$1,000奨学金授与、Rotary Club of Tumon Bayからはグアム大学へ年間\$10,000奨学金制度設立という教育分野への支援活動も特筆できる支援活動になっています。

クラブの中では既に他クラブをパートナークラブとして協力し活動する事を念頭に置いており、パートナー、第2750地区グループと共にロータリー活動を発展させる事に皆さんの意気込みが感じられました。マイク・ペリンPBG ガバナー補佐と共に皆様を支え、協力しながらベストを尽くしたいと思います。第2750地区の皆様とご一緒に成長していきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。





米山功労者ご紹介

ご協力感谢您いたします

米山功労者

坂本 俊雄君	東京八王子南	2012.4.5	14
三上 晃君	東京日本橋東	2012.4.18	2
野村 和夫君	東京国立白うめ	2012.4.18	1
志賀 久世君	東京たまがわ	2012.4.23	1
三木 秀隆君	東京たまがわ	2012.4.23	4
多田 弘君	東京田園調布緑	2012.4.25	1
生駒 良治君	東京三鷹	2012.4.25	1
石川 智庸君	東京日本橋西	2012.4.26	4

ポール・ハリス・フェローご紹介

◎はマルチプル
ご協力感谢您いたします

尾関 武男君	東京赤坂	4月
小堺 裕一郎君	東京日本橋	4月
佐藤 征己君	東京中央	4月
◎ 大木 洋君	東京羽田	4月
◎ 岩佐 竹治君	東京世田谷南	4月
◎ 三田 耕吉君	東京世田谷南	4月
◎ 野村 昇君	東京世田谷南	4月
守屋 聰英君	東京飛火野	4月
飯沼 克美君	東京国分寺	4月
生駒 良治君	東京三鷹	4月
◎ 宮崎 陽市郎君	東京三鷹	4月
◎ 関 重寿君	東京国立	4月
◎ 津戸 最君	東京国立	4月
◎ 金澤 昇君	東京武蔵国分寺	4月
中川 隆君	東京武蔵国分寺	4月
◎ 小川 義幸君	東京武蔵国分寺	4月
◎ 小林 喜久代君	東京たまがわ	4月
◎ 山根 祥利君	東京たまがわ	4月

※ガバナー月信5月号「ポール・ハリス・フェローご紹介」において田園調布緑RCの瀬戸正道様のクラブ名が田園調布RCとなりました。お詫び申し上げます。

新ベネファクターご紹介

ご協力感谢您いたします

樋口 素生	東京世田谷南	4月
佐藤 義弘	東京昭島中央	4月

日本事務局 財団室よりのご伝言：

現在、ロータリー財団ではデータベースの見直しをしており、一部の寄付のデータがまだ入っていないため、今回のリストは暫定的のものとなりますので、ご了承ください。

お詫び

ガバナー月信5月号2ページ「地区大会2012」開催報告でRI会長エレクト田中作次様のお名前が間違っておりました。ここに謹んでお詫びして訂正申し上げます。

文庫通信 (296号)

ロータリー
文庫

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

日本の先輩ロータリアンのロータリー観

◎「さわやかインタビュー 人間米山梅吉を大いに語る(その1~3)」

湯浅恭三・杉谷武雄 米山記念奨学会 1986 [22p]

◎「大夢翁 土屋元作伝 第一章・第二章」

日出 RC 編 1996 24p

◎「『奉仕の理想の意味』ポール・ハリス『角砂糖クラブとこんべい糖クラブ』齋木亀治郎『常識の意味』米山梅吉」

辻 忠夫編 D. 268 1991 3p (ロータリー百話)

◎「ロータリー・ニュースとガバナー昔話」

直木太一郎 神戸 RC 1975 79p

◎「ロータリー・ニュース 1981年~83年」

直木太一郎 神戸 RC 1983 99p

◎「前原ガバナー講話集」

D. 355 -- 87p

上記申込先：ロータリー文庫

◎「ロータリアン福島喜三次傳(日本ロータリーの曙)」

蒲原権編 有田 RC 1986 102p

申込先：有田 RC FAX(0955)43-3140

◎「ロータリーの本」

森 光繁 今治 RC 1978 126p

申込先：今治 RC FAX(0898)22-3952

〒105-0011

東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506
http://www.rotary-bunko.gr.jp

開館

午前10時~午後5時

休館

土・日・祝祭日

深く哀悼の意を表し御冥福を祈ります



鈴木 茂 (東京田園調布緑RC)

2012年5月1日 逝去 (享年81歳)
1997年7月1日 入会
ポール・ハリス・フェロー



小林 朗男 (東京調布むらさきRC)

2012年5月8日 逝去 (享年62歳)
2001年12月6日 入会
2008-09年 米山功労者 第一回マルチプル
2011-12年 米山功労者 第二回マルチプル

★国際ロータリー第2750地区出席報告 (4月分)★
District 2750 Membership Attendance Report April 2012

区分	クラブ名	例会	出席率	会員数			区分	クラブ名	例会	出席率	会員数			
				11年7月1日	12年4月末	増減					11年7月1日	12年4月末	増減	
千代田グループ	東京南	4	74.02	181	183	2	多摩南グループ	東京八王子	4	91.55	54	59	5	
	東京芝	4	91.33	92	91	-1		東京町田	3	85.69	54	58	4	
	東京新橋	4	77.78	51	53	2		東京日野	4	80.69	34	31	-3	
	東京赤坂	4	73.00	43	44	1		東京八王子西	3	81.11	69	75	6	
	東京みなと	4	85.43	46	46	0		東京町田・中	4	72.37	36	34	-2	
	東京レインボー	3	71.72	32	33	1		東京八王子東	4	91.67	20	21	1	
銀座・日本橋グループ	東京麻布	4	70.60	20	19	-1	東京八王子南	4	85.00	58	61	3		
	東京銀座	4	77.16	157	159	2	東京町田サルビア	4	88.15	22	22	0		
	東京日本橋	4	74.01	175	186	11	東京飛火野	4	74.99	28	27	-1		
	東京築地	4	81.51	69	69	0	東京町田東	4	70.83	25	25	0		
	東京日本橋東	4	83.60	47	46	-1	東京八王子北	4	78.57	37	39	2		
	東京中央	4	85.30	216	218	2	東京立川	4	89.57	98	101	3		
京浜グループ	東京日本橋西	4	82.14	41	41	0	多摩中グループ	東京小金井	4	92.35	33	32	-1	
	東京銀座新	3	83.16	68	70	2		東京国分寺	4	92.30	41	39	-2	
	東京シテイ日本橋	4	75.59	47	46	-1		東京三鷹	4	78.80	37	37	0	
	東京中央新	4	64.40	40	43	3		東京昭島	4	77.59	46	50	4	
	東京羽田	4	75.69	42	43	1		東京国立	4	98.30	49	47	-2	
	東京品川	4	87.55	56	55	-1		東京立川こぶし	4	90.14	81	81	0	
山の手東グループ	東京大森	4	92.74	46	46	0	多摩東グループ	東京井の頭	4	91.30	21	23	2	
	東京品川中央	4	79.25	55	54	-1		東京昭島中央	4	78.00	41	44	3	
	東京大井	3	77.78	18	18	0		東京武蔵国分寺	4	88.00	47	49	2	
	東京田園調布	4	75.79	48	48	0		東京小金井さくら	4	76.04	23	24	1	
	東京港南	4	75.00	17	18	1		東京国立白うめ	4	84.06	22	23	1	
	東京大崎	4	87.12	35	33	-2		東京府中	4	83.33	60	60	0	
	東京蒲田	3	95.48	62	57	-5		東京調布	4	90.30	60	62	2	
	東京京浜	2	74.15	21	24	3		東京多摩	4	74.08	25	27	2	
	東京田園調布緑	4	81.54	26	25	-1		東京狛江	4	88.32	29	28	-1	
	東京マリーン	4	81.25	13	12	-1		東京稲城	3	75.00	27	29	2	
	東京白金	4	84.80	25	28	3		東京武蔵府中	4	68.30	53	55	2	
	東京高輪	1	80.00	22	23	1		東京たまがわ	4	82.00	25	25	0	
	山の手西グループ	東京西	3	79.31	154	155		1	東京多摩グリーン	4	82.37	34	35	1
		東京城南	4	65.87	73	72		-1	東京調布むらさき	4	86.22	78	85	7
東京西南		3	83.25	49	48	-1	東京iシテイ	4	90.91	25	22	-3		
東京原宿		4	73.91	23	23	0	パシフィック・ペイナスグループ	Guam		75	73	-2		
東京杉並		4	73.44	39	37	-2		Saipan		43	43	0		
東京神宮		4	69.16	28	30	2		Tumon Bay		86	82	-4		
東京恵比寿		4	82.00	90	101	11		Northern Guam		34	35	1		
東京広尾		4	76.56	18	16	-2		Pohnpei		23	17	-6		
東京渋谷		4	67.50	32	33	1		Palau		20	16	-4		
東京六本木		4	68.00	50	52	2		Guam-Sunrise		30	30	0		
東京世田谷	4	92.83	57	55	-2	Truk Lagoon			11	15	4			
東京目黒	4	92.26	43	42	-1	国内84クラブ計		4,199	4,280	81				
東京成城	3	76.01	21	21	0	地区92クラブ計		4,521	4,591	70				
東京世田谷南	4	78.00	95	95	0	千代田グループ	77.70	多摩南グループ	81.87					
東京城南	2	73.00	31	33	2		銀座・日本橋グループ		78.54	多摩中グループ	86.37			
東京山の手	4	83.59	61	64	3		京浜グループ		82.01	多摩東グループ	82.08			
東京成城新	4	82.73	38	42	4		山の手東グループ		73.90	PBグループ				
東京青山	4	70.75	29	30	1		山の手西グループ		80.82					
東京自由が丘	4	79.52	19	20	1					平均出席率	80.77 (PBGを除く)			
東京世田谷中央	3	90.37	16	18	2									
東京米山友愛	4	70.00	30	32	2									

編集後記

片倉年度最後のガバナー月信をお届け申し上げます。
ガバナーのお気持ちをどれだけ地区ロータリアンにお届けできたか心もとないところではありますが、読者の皆様、地区役員の皆様、委員会のお仲間へ助けられ何とか任務を全うできました。感謝申し上げます。
本年度は各クラブでも東日本の災害復興支援が大きなテーマであったことと存じますが、当委員会でもその推移から目

を離すことができませんでした。
当地区でも漸くEクラブが誕生いたします。IT活用の観点から推移を見守ってまいりましたが、大きく育ててほしいものです。
次年度はガバナー月信の体制も少し変わりますが皆様の一層ご支援をお願い申し上げます。1年間ありがとうございました。

2011-12年度ガバナー月信・IT委員会 委員長 望月 耕次 (東京日本橋RC)

国際ロータリー第2750地区 2011-12年 ガバナー 片倉 章雄

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F 電話 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

Rotary International District 2750 2011-12 Governor Akio Katakura

KOKURYU SHIBA-KOEN BLDG. 3F, 2-6-15 SHIBA-KOEN, MINATO-KU, TOKYO, JAPAN 105-0011 PHONE 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

発行：ガバナー 片倉 章雄(2011-12) © Akio Katakura 2012

編集・制作：ガバナー月信・IT委員会 委員長 望月 耕次 副委員長 木村 清信 副委員長 河村 勝久 副委員長 竹平 時彦
Andrew WONG 田中 廣 山見 真弘 永田 有利恵 堀口 昇治 石黒 重徳 織田 ゆり子 羽田 伊助 森本 行俊 清野 修一
浅見 省三 坂場 一隆 Brian McDERMOTT

ホームページアドレス

<http://www.ri2750.org/>